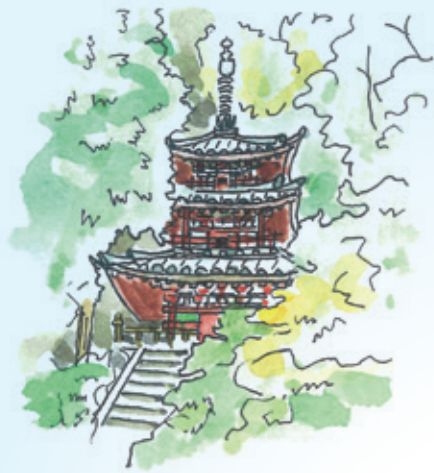




松尾寺



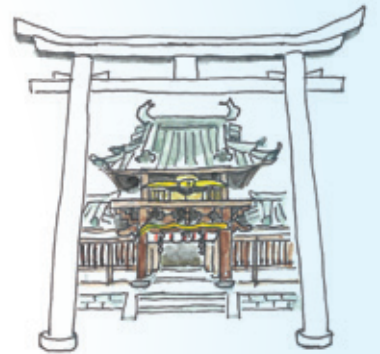
郡山城跡



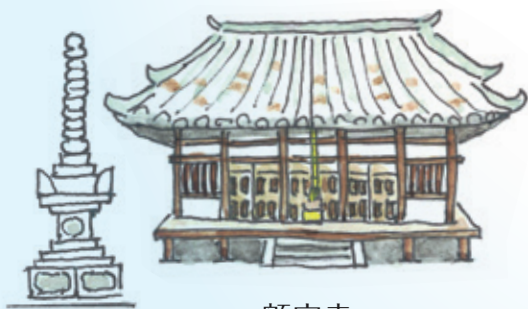
小泉神社

観光おすすめ 十三のコース

大和郡山市



矢田坐久志玉比古神社



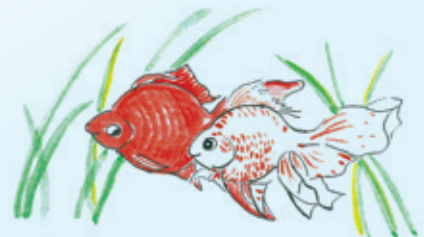
額安寺



箱本館「紺屋」



賣太神社



「観光おすすめ 十三のコース」の紹介

1 金魚が泳ぐ城下町コース

郡山城跡・城下町・金魚の養殖池の風景を楽しむコース。

2 大納言秀長のお城と城下町コース

豊臣秀長100万石の城跡と城下町を散策。



3 郡山城外堀跡一周コース

全長5.5kmの外堀、断続的に残されている堀跡は当時の面影が残る。郡山城のスケールの大きさが実感できるコース。

4 あおによし平城（ナラ）への道コース

大和郡山市内の平城京跡・西市跡・羅城門跡・藤原不比等ゆかりの植槻八幡神社を巡るコース。

5 野の花の咲く環濠めぐりコース

中世の典型的な環濠集落。室町・戦国時代に想いを寄せ景観豊かな田園風景を散策。

6 小泉の里コース

古墳時代から続く町。中世の小泉氏・近世の片桐氏が活躍した町を散策。

7 民話の里を訪ねるコース

牛の宮・豊浦のたぬき・九頭上池などの伝説の地を巡るコース。

8 筒井順慶の通った道

大和を守った順慶の筒井城跡から郡山城跡に向けての散策コース。

9 自然豊かな矢田丘陵 松尾寺から矢田寺へ

10 自然豊かな矢田丘陵 東明寺から矢田寺へ

約1300年前に松尾寺・矢田寺・東明寺が矢田丘陵に建立された。豊かな自然があふれ、魅力ある散策コース。

11 自然豊かな矢田丘陵 古代から近世へ

女王牟弥呼を思いながら大和民俗公園を通り抜け、本多家ゆかりの寺などを巡るコース。

12 古代ロマン額田部の里コース

聖徳太子ゆかりの地・忍性が活躍した+額田部地区。古き時代に想いを馳せるとロマンを感じさせる散策コース。

13 古事記の里コース

五輪塔覆堂（筒井順慶墓）・下ツ道・嫁取り橋伝説など話題豊かな散策コース。

コース1 金魚が泳ぐ城下町コース

【距離】約6km 【所要時間】約2時間

近鉄郡山駅 ▶ 金魚資料館 ▶ 大納言塚 ▶ 永慶寺 ▶ 郡山城跡 ▶ 箱本館「紺屋」 ▶ 葉園八幡神社 ▶ 外堀緑地公園南門 ▶ 町家物語館 ▶ 源九郎稲荷神社 ▶ 郡山八幡神社 ▶ 近鉄郡山駅



郡山城跡

復元された追手門、隅櫓、多聞櫓などが往時を偲ばせる。天守台の石垣には、逆さ地蔵や羅城門の礎石（といわれている）など転用石が多い。県指定文化財、桜の名所百選にも選ばれ春にはお城まつりで賑わう。

永慶寺

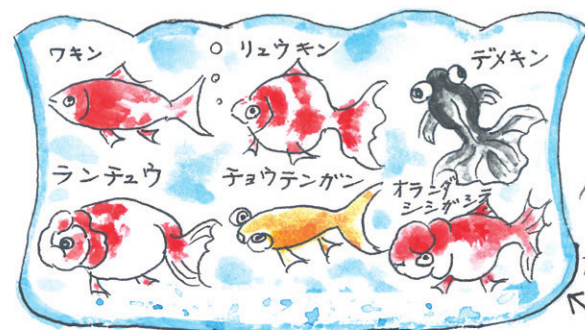
郡山藩主柳澤家の菩提寺。柳澤吉里が甲府から国替えの時現在地に移した。山門は旧郡山城の城門を移築したといわれている。
開基：柳澤吉保
開山：悦峰禅師（八世）

大納言塚

紀伊・和泉・大和 百万石の城主、大納言秀長の墓所。市指定文化財。毎年4月22日に墓前法要が営まれている。

金魚資料館

昭和57年やまと錦魚園が自費で設立。金魚の古書・資料等の収集は貴重。現存する色々な種類の金魚が展示されている。



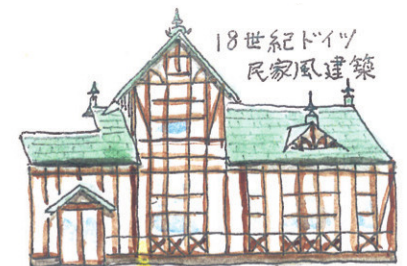
コース2 大納言秀長のお城と城下町コース

【距離】約5km 【所要時間】約2時間

JR 郡山駅 ▶ ニチボウ跡 ▶ 中村邸 ▶ 火の見櫓・元 杉山小児科医院 ▶ 春岳院 ▶ 郡山城跡 ▶ 西公園 ▶ 鷺池 ▶ 柳門 ▶ 箱本館「紺屋」 ▶ 町家物語館 ▶ 源九郎稲荷神社 ▶ 外堀緑地公園南門 ▶ 葉園八幡神社 ▶ 外堀緑地公園北門 ▶ JR 郡山駅

春岳院

大納言秀長の位牌菩提寺、秀長の位牌・肖像画・箱本制度の史料・文献が残されている。



元 杉山小児科医院

大正10年の建物。奈良では数少ない大正時代の建物として貴重な存在。18世紀ヨーロッパの都市型の民家。平成18年、登録有形文化財に登録。

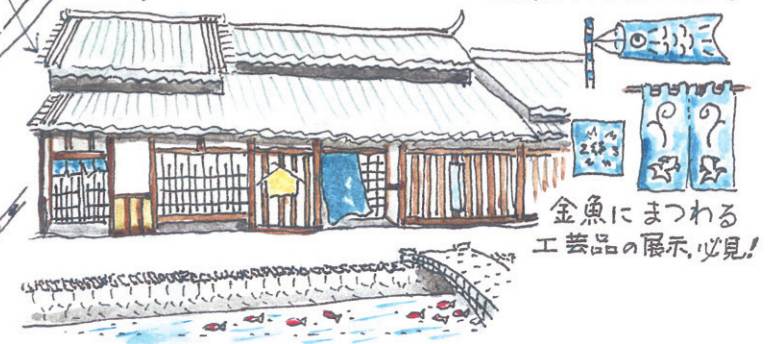
箱本館「紺屋」

明和年間（1764～1771）に建てられた建物で、現存する町屋では市内最古のひとつ。奥野氏が代々営んでいた染物屋を廃業したので、2000年4月、箱本館「紺屋」としてリニューアルされ、藍染の体験もできる資料館として開業した。

源九郎稲荷神社

古くは日本三大稲荷の一つ、義経が吉野に落ちのびた時、白狐が静御前を送り届けた話は有名。お城まつりに「白狐渡御」の行事がある。

藍染め体験できます



箱本館「紺屋」

金魚にまつわる工芸品の展示、必見!

コース 3

郡山城外堀跡一周コース

【距離】約7km 【所要時間】約2時間30分

JR 郡山駅

郡山城外堀跡一周

JR 郡山駅

郡山城は、1585年に豊臣秀長が、紀伊・和泉・大和の三ヶ国100万石の太守として本格的な城造りを行いました。秀長の後、1595年に増田長盛が20万石で入城し、秋篠川の流れを変え、元の川跡を外堀としたり、溜池を利用してつないだりして堀をめぐらし、堀の内側には「土居」という土塁を築いて松や竹を植え、城下町全体を取り巻く惣堀の普請を行い、全長50町13間(約5.5km)の外堀を完成させました。

城下町を取り巻いていた外堀も、時代と共に水路化したり宅地に転用されたりして昔の面影は薄れていますが、歴史的遺産である外堀跡を後世に伝える為に外堀跡に石碑を建てたり、外堀緑地公園としての整備や、大雨時の保水池としての整備が行われています。



荒木又右衛門の屋敷跡

又右衛門は、郡山城主松平忠明に1627年頃～1633年まで、剣術指南として仕えていた。(250石)

外堀緑地公園

平成9年に郡山城の外堀の一部を整備し公園にしたもの。全長580m。市民の憩いの場として活用されている。

あおによし平城(ナラ)への道コース

【距離】 約 5 km 【所要時間】 約 2 時間

近鉄九条駅 ▶ 西市跡 ▶ 九条公園 ▶ 花街道 ▶ 羅城門跡 ▶ 清涼院跡池 ▶ 九条大路 ▶ 植槻八幡神社 ▶ 近鉄郡山駅

植槻八幡神社

詳細は不明。奈良時代に創建された植槻寺と関係があったと言われています。

西市跡

平城京に住む人々の生活用品を賄うため、東と西に官営の市場が造られていた。ここ西市の広さは、甲子園球場の約2倍あったそうです。

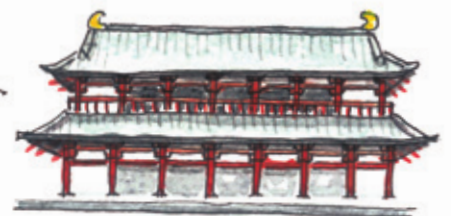
九条公園

日本最初の鑄造銭・富本銭が、
日本で最初に完全な形でこの地
で見つかりました。



羅城門跡

平城京の表玄関として、外国の使節を御迎えした重要な場所です。門は、暁の太鼓と共に開き、宵の太鼓と共に閉められました。



羅城門模型

コース
5

野の花の咲く環濠めぐりコース

【距離】約8km 【所要時間】約3時間

JR 郡山駅

枳殻地蔵

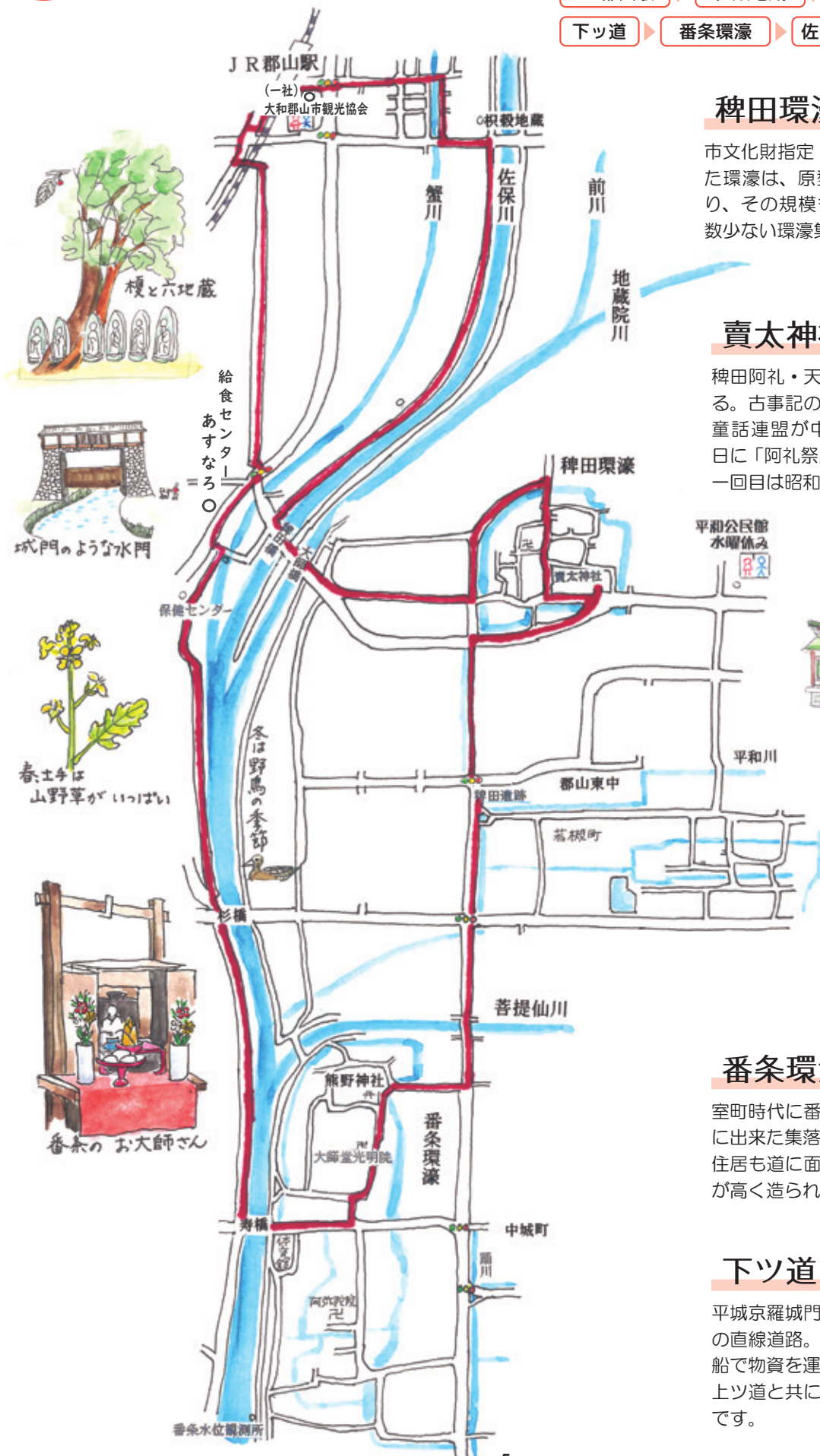
稗田環濠・賣太神社

下ッ道

番条環濠

佐保川沿い

JR 郡山駅



稗田環濠集落

市文化財指定（史跡）。室町時代に出来た環濠は、原型に近い形で残されており、その規模も全国最大級。現存する数少ない環濠集落です。

賣太神社(式内社)

稗田阿礼・天宇受売命・猿田彦神を祀る。古事記の語り部にちなみ、奈良県童話連盟が中心となり、毎年8月16日に「阿礼祭」が開催されている。（第一回目は昭和5年）



番条環濠集落

室町時代に番条氏（地侍）の館を中心に出来た集落。道は狭く曲がっており、住居も道に面した窓がほとんどなく壁が高く造られている。

下ッ道

平城京羅城門から藤原京に通じる南北の直線道路。道に沿って水路が造られ船で物資を運搬していました。中ッ道・上ッ道と共に奈良時代に活躍した官道です。

【距離】 約 7 km 【所要時間】 約 2 時間 30 分

JR大和小泉駅(西口) ▶ 小泉城跡 ▶ 高林庵 ▶ 小泉神社 ▶ 善福寺 ▶ 小白水跡
 小泉大塚古墳 ▶ 六道山古墳 ▶ 親子塚 ▶ 庚申堂 ▶ 安養寺 ▶ JR大和小泉駅

小泉大塚古墳

古墳時代の初期（3C中）に築造されました。全長88m(80mとも)の前方後円墳ですが前方部は、県営住宅造成時に削られ後円部だけ残されました。

小白水跡

弘法大師が、掘ったとされる小白水という小さな泉。どんな日照りが続いても枯れる事がなかったそう。小泉の地名の由来となりました。

小泉神社

1390年、小泉村10ヶ村の
総社として祀られたのが始まりです。以来、村人の信仰の
中心として、又、小泉城の守
り神として歴代城主の崇敬を
受けて来ました。本殿は、重
要文化財 主神素戔嗚命 相殿
誉田別命、他に九頭・住吉・
稻荷を祀る。

小泉城跡

800年代前半、地侍・小泉氏の拠点としてこの地に館を築き戦国末期まで統治。その後、秀長の家老や片桐氏によってこの地が治められ明治維新まで続いた。

庚申堂

正式名：天台宗金輪院、
本尊：青面金剛。「一国
一字 庚申」とされ、こ
こが大和国の庚申信仰
の総道場です。



JR大和小泉駅(西口) ▶ 牛の宮 ▶ 豊浦八幡神社 ▶ 九頭上池 ▶
七ヶ井堰分水点 ▶ JR大和小泉駅

九頭上池伝説

古説によると、大洪水があり、産土神が笹舟に乗って九頭上池に入られた時、洪水がにわかに収まりました。村人は、産土神を池のほとりに「水の神」としてお祀りしました。

豊浦の狸伝説

村人に、いたずらばかりしていた狸ですが、どこか間抜けなところがあり村人に愛されていました。ある時、村に大きな事件が起こり村人は大変困っていました。そのことを知った狸は、一世一代の芝居をして村の窮地を救ったのです。しかし、その事がもとで狸は死んでしまいました。村人は、狸を地藏堂に葬ってやりました。



牛の宮伝説

6年の年季奉公の途中で亡くなった少年。残された年季を、牛が代って勤め上げました。ところが、その牛も死んでしまいました。主人は、塚を築いて牛を弔ってやりました。今も、池之内町に「牛の宮」という塚があり、16歳になった男の子の家では「牛の宮」でお祀りをしています。

筒井順慶の通った道

【距離】約 4 km 【所要時間】約 1 時間 30 分

近鉄筒井駅 ▶ 筒井城跡 ▶ 菅田比売神社 ▶
請堤 ▶ 千体寺 ▶ 郡山八幡神社 ▶
近鉄郡山駅

郡山八幡神社

別名：柳八幡宮。室町時代の初頃鎮座、中世郡山村の人々の信仰の中心であり郡山城鎮護の神として歴代城主の尊崇を得ていた。

大和を統一した筒井順慶

父、順昭が28歳という若さで没したため、順慶わずか2歳で家督を継ぐこととなった。10年ほどは順昭が残した家臣団に守られ、大和の国の旗頭として無事過ごすことが出来た。しかし、順慶11歳の時大和に強力な外部勢力が侵入してきた。当時近畿に台頭してきた松永久秀である。信貴山城・多聞城を築き大和を手中に入れようとしてきた。順慶は、久秀の攻撃に三度筒井城を棄て合計10年間ほど福住や宇陀の山中に逃げ込む事となった。その都度順慶は復帰してきた。久秀は「織田外し」の失敗から自ら墓穴を掘ってしまった。思わぬ形で信長から「国中一円存知」を得た順慶であったが、その後も「国内反対勢力の一扫」や信長からの指示「伊賀征伐」・「武田勝頼追討」秀吉から「信孝征伐」・「信雄征伐」と戦いに明け暮れた。1584年8月、過労と心労が積み重なり36歳という若さで波乱の人生を閉じてしまった。

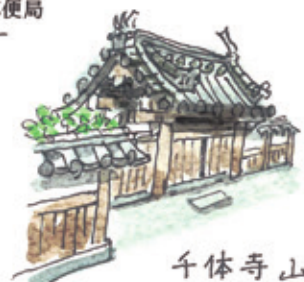


筒井順慶



千体寺

鎌倉時代に造られた螺鈿厨子（重要文化財）内に、本尊阿彌陀如来を安置しその周囲に千体の阿彌陀仏を配置している。別名：千体厨子・浄土厨子とも呼ばれている。



千体寺山門

筒井城跡

1430年、筒井順永 築城、1580年、廃城し郡山城へ。平城で城門・櫓があったが高石垣はなかった。堀は、当時県内最大の12m幅。全長2.2kmの外堀があった。



自然豊かな矢田丘陵 松尾寺から矢田寺へ

【距離】約 7.5 km 【所要時間】約 2 時間 40 分

松尾寺口バス停 ▶ 杵築神社 ▶ 七曲り古道 ▶ 松尾寺 ▶ 矢田寺 ▶ 横山口バス停



矢田寺

高野山真言宗別格本山 金剛山寺（俗称：矢田寺）。開基：天武天皇、開山：智通（入唐僧）675年創建。
本尊：初め十一面観音・吉祥天であったが、800年代の初め地蔵菩薩となる。錫杖を持たない地蔵菩薩で、矢田型の地蔵という。日本最古の延命地蔵です。

松尾寺

補陀落山 松尾寺 松尾山真言宗。718年舎人親王創建。
本尊：千手千眼観音。日本最古の厄除け道場です。

杵築神社

祭神：須佐之男命。創立・由緒：不詳。
この辺り一帯に「山田のオロチ」の伝承があり、今も神社の秋祭りで祭事がおこなわれています。（10月第二土曜日の夜）

七曲り古道

山田村から松尾山を越え平群へと通じる古道です。生活道としてまた、松尾寺への信仰の道として古くから使われてきました。



杵築神社

自然豊かな矢田丘陵 東明寺から矢田寺へ

【距離】約 5 km 【所要時間】約 2 時間

横山口バス停

矢田坐久志玉比古神社

東明寺

矢田寺

横山口バス停

東明寺

鍋蔵山東明寺 高野山真言宗。694年、舎人親王創建。

本尊：薬師如来坐像。

由緒：683年持統天皇が目の病にかかり、心配された舎人親王は、ここの水を持ち帰り天皇の目を洗ったところ治癒された。そのお礼に寺を建てたとされる。



東明寺

矢田坐久志玉比古神社

式内社。別名：矢落明神。祭神：櫛玉饒速日命・御炊屋姫。末社：八幡社。矢田村の総鎮守で古事により飛行機の神様といわれ航空関係者の参拝も多い。

矢落明神伝説

「饒速日命が天の磐船に乗り降臨された時、三本の矢を射てその矢が落ちたところを住まいにしようとした。三本の矢は、すべて矢田に落ち、二つ目の矢が落ちたところに宮を造られた。これが当社である。」と伝えられている。



全国金魚すくい選手権大会
8月の第3日曜日 場所：総合公園「金魚スクエア」

大和郡山市総合公園



自然豊かな矢田丘陵 古代から近世へ

【距離】約 6 km 【所要時間】約 2 時間

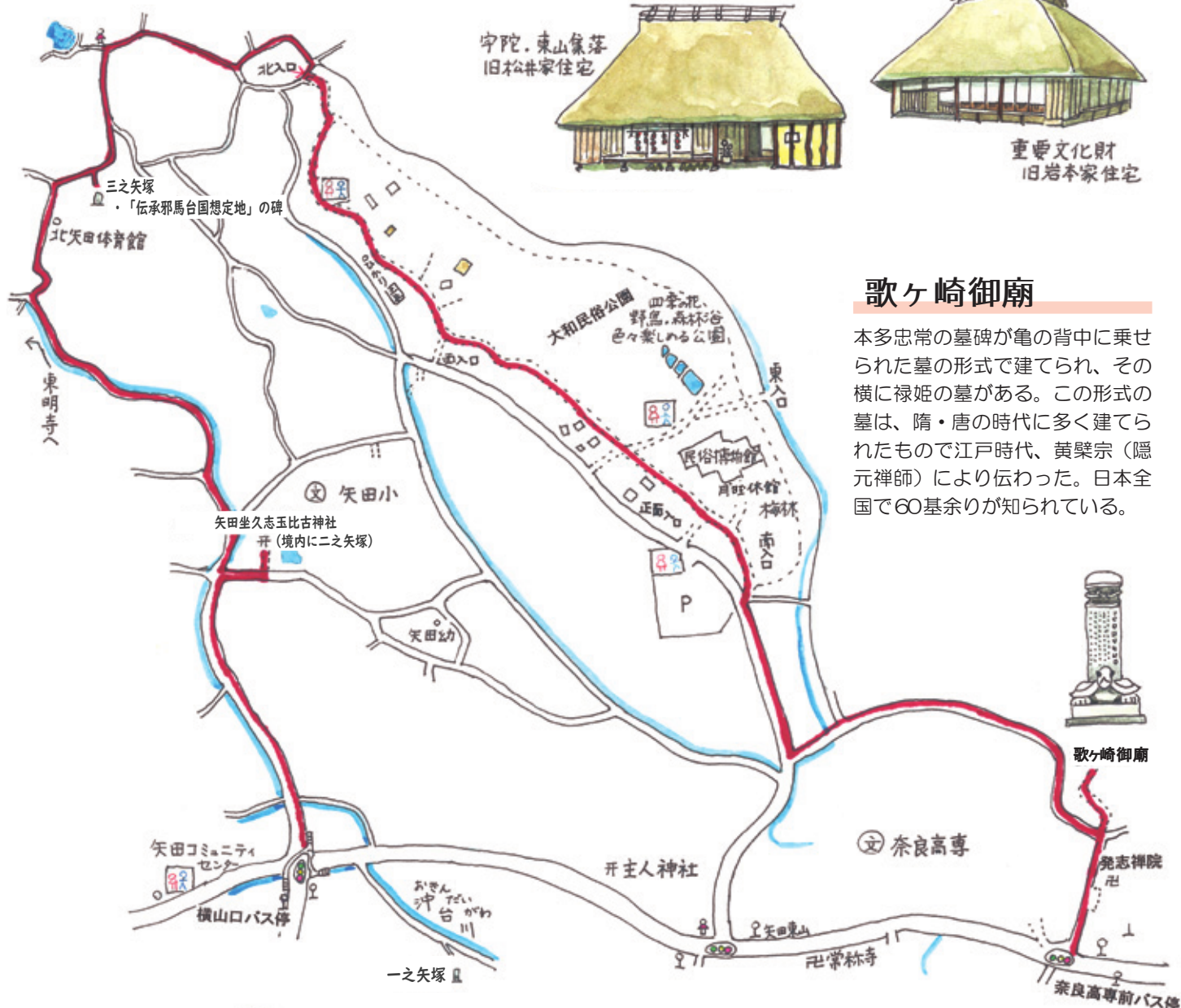
横山口バス停 ▶ 矢田坐久志玉比古神社（二之矢塚） ▶ 三之矢塚・「伝承邪馬台国想定地」の碑 ▶ 大和民俗公園 ▶
 発志禅院・歌ヶ崎御廟 ▶ 奈良高専前バス停

三之矢塚

饒速日命が天の磐船に乗り降臨した時、三本の矢を射た。三本の矢は、すべて矢田に落ちた。命は、「一つ目の矢が落ちたところに田や畑をつくり、二つ目の矢が落ちたところを宮に、三つ目の矢が落ちたところを住まいと定めた。」とされている。三之矢塚には「伝承邪馬台国想定地」の碑が立つ。

大和民俗公園・博物館

大和の人々の暮らしを ①盆地の稲作 ②大和高原の茶 ③吉野の林業 の三つの地区に分け、1970年代以前的大幅な機械化が進む前の道具や暮らしについて展示し、実際に住んでいた家屋も移築して展示している。



歌ヶ崎御廟

本多忠常の墓碑が亀の背中に乗せられた墓の形式で建てられ、その横に禄姫の墓がある。この形式の墓は、隋・唐の時代に多く建てられたもので江戸時代、黄檗宗（隠元禅師）により伝わった。日本全国で60基余りが知られている。

発志禅院（恵日山）

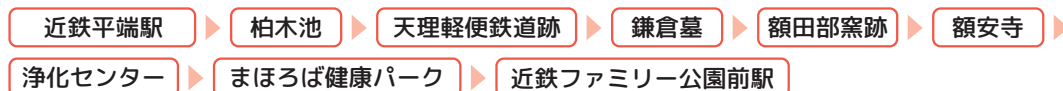
黄檗宗万福寺末。開基：本多忠常（忠直）。開山：古篆和尚（こてん）。本尊：初めは聖観音、後に釈迦如来坐像。忠常が姉の禄姫の菩提を弔うため計画したが没す。その養子忠直が遺志を継ぎ建立。



コース 12

古代ロマン額田部の里コース

【距離】約 5 km 【所要時間】約 1 時間 30 分



天理軽便鉄道

大正4年、天理～法隆寺間9kmを28分で結んだ鉄道です。天理～平端間は近鉄天理線として残り、平端～法隆寺間は昭和20年廃線となりました。今も、線路跡の一部が町の中に直線の道として残っています。

額安寺五輪塔 (俗称：鎌倉墓)

五輪塔が8基並んでいる。一番大きい五輪塔が忍性の墓です。鎌倉時代の五輪塔群として重要文化財に、又忍性の五輪塔内から骨臓器など出土しており併せて重文となっている。

額安寺

聖徳太子創建（621年とも）の、熊凝精舎（後の大安寺）跡に道慈律師が創建、額安寺とした。熊凝山、真言律宗。

寺伝によると、推古天皇の額に出来物が出来、この寺で祈願されたところ、跡形もなく平癒されたので「(額が安ら became) 額安寺と呼ぶようになった。」という。

額安寺

額田部窯跡

重要文化財指定。窯は、全長2m・幅1mの小規模なものです。焼成室床面の溝（ロストル）などの保存状態もよく、ロストル式平窯の炉内の様子がよく解る。額安寺の瓦を焼くための窯として造られたものです。

古事記の里コース

【距離】 約 8 km 【所要時間】 約 2 時間 30 分

近鉄平端駅 ▶ 五輪塔覆堂（筒井順慶墓） ▶ 三郷橋 ▶ 菅田神社 ▶ 嫁取り橋 ▶ 八条遺跡 ▶ 下ツ道 ▶ 稗田環濠・賣太神社 ▶ JR郡山駅 ▶ 外堀緑地公園 ▶ 箱本館「紺屋」 ▶ 市役所前 ▶ 近鉄郡山駅

箱本十三町
観光案内所

火・木・土・日・祝日の
10時～15時開所

稗田環濠・賣太神社

集落は飛鳥時代に、環濠は室町時代に出来たとされています。ここは「古事記の語り部」稗田阿礼のふる里です。阿礼は、天宇受売命・猿田彦神とともに祀られている。



菅田神社

式内社。祭神：菅田比古命（天目一箇命・天津麻羅とも呼ばれている）
天照大神が天岩戸に隠れた時、鏡・鈴を造った神で金属加工の祖、器具を造ったことから農耕の神・地域の氏神として祀られている。

佐保川

万葉集「佐保川の清き河原に鳴く千鳥かはすと二つ忘れかね
つも」昔は綺麗な川であった。外交使節は大和川・佐保川を
利用して、羅生門に入った。西市への物流としても活用。



本冊子発刊にあたり

この冊子は、大和郡山市観光ボランティアガイドがおすすめする「大和郡山市のみどころや歴史的遺産」をご紹介します、大和郡山市の良さを知っていただけるよう作成いたしました。

大和郡山市は奈良盆地北部に位置し、東西9km、南北7km、面積42km²の中堅都市です。古くは古事記の時代から古墳時代、奈良時代、そして中世鎌倉時代から近世まで連綿と歴史が続き、各所に歴史的遺産が存在しています。また、自然に恵まれた山や川があり、春には桜が咲き誇り、秋には紅葉が色づくなど素敵な場所がいっぱいです。

歴史的遺産と自然環境に恵まれた大和郡山市を散策していただけるようモデルコースを作り、冊子にまとめ「大和郡山市観光おすすめ十三のコース」といたしました。この冊子を手に取り、ウォークへと出発なさってください。大和郡山市の良さを実感していただけるかと思います。

なお、ご希望の方には、各コースを観光ボランティアガイドがご案内することもできます。お問い合わせは大和郡山市観光協会へどうぞ。

お問い合わせは

大和郡山市観光協会

大和郡山市高田町92-16

TEL.0743-52-2010 FAX.0743-52-2322



各地図は、2022年1月調査に基づいて編集

冊子の企画・編集／みちしるべの会
後援／大和郡山市まちづくりアイディアサポート事業
大和郡山市観光ボランティアガイドクラブ